

「医療・環境オゾン研究(Journal of Medical & Hygienic Use of Ozone)」投稿規定

「医療・環境オゾン研究」は、日本医療・環境オゾン学会（以下本会）の機関誌であり、本会の目的である「疾病治療・予防医学へのオゾンの応用、オゾンによる清浄・快適環境の創造およびオゾン利用の安全性などの研究」に関する論文ならびに本会学術大会の講演要旨などを掲載する。

1. 投稿者の資格

少なくとも著者の一人は本会会員とし、投稿者は予め全ての著者の同意を確認の上、論文を投稿する。ただし、総説など、編集委員会が執筆を依頼する論文の著者・投稿者は本会会員に限定しない。

2. 投稿論文の種類

投稿論文は、原著論文、速報、短報、症例・事例報告、総説および解説とし、速報の詳細として発表する場合を除き、他誌に未発表のもので、発表予定もないものに限る。

原著論文とは、オゾン研究の基礎および応用に関して価値ある新知見あるいは結論をまとめたものをいう。

速報とは、独創性・新規性が高く、迅速に掲載することが重要と判断されるものをいう。

短報とは、断片的であっても価値ある新事実やデータを含むものをいう。

症例・事例報告とは、少数例であっても、オゾン研究において得られた貴重な具体例を報告するものをいう。

総説とは、オゾン研究において重要かつ話題性のある事項について総合的に展望し、論じるものである。

解説とは、オゾン研究に必要な基礎的知識や最新の技術などについて分かり易く説明するものをいう。

3. 投稿論文の言語

投稿論文の言語は日本語または英語とし、詳細は別に定める「投稿の手引き」に従う。これに反する場合は受け付けない。なお、英文投稿および和文の英文要旨については予め英文校閲を受けてから投稿すること。

4. 投稿原稿の送付先

投稿原稿は、別添の投稿カードとともに、本会「医療・環境オゾン研究」編集委員会宛に e-mail で提出すること。

e-mail : ozone@js-mhurozone.com (ファイルが大きい場合は CD または USB メモリーで下記に郵送)

〒573-0061 大阪府枚方市伊加賀寿町 16 番 63 号 風雅 103 号

日本医療・環境オゾン学会 編集委員会

Tel/Fax : 072-807-6025

5. 審査および採択

- 1) 投稿原稿が編集委員会において受付処理された日を受付日 (Received) とし、掲載可と決定した日を採択日 (Accepted) とする。原稿の受付日および受付番号は e-mail で連絡代表者に通知する。なお、投稿原稿は返却しない。
- 2) 投稿原稿掲載の採否は審査員 2 名の審査を経て編集委員会において決定する。ただし、審査員は 1 ヶ月以内に審査結果を編集委員会に送付するものとする。
- 3) 投稿原稿の審査結果は受付日より 2 ヶ月以内に投稿者に通知する。
- 4) 著者に関する事項 (追加、削除、順番の変更) の投稿後の変更は受け付けない。
- 5) 審査の結果、編集委員会は字句その他の加除修正を著者に要求することがある。修正等のために編集委員会から著者に返却された原稿は、修正原稿として 1 ヶ月以内に編集委員会に送付するものとする。これより遅れた場合は、新規投稿原稿として取り扱う場合がある。
- 6) 採択された論文は、年に 4 回発行する学会誌に掲載する。

6. 校正

著者校正是初校のみとし、再校は編集委員会において行う。校正に際してはミスプリント以外の校正は原則としてできない。ただし、編集委員会は原稿中の字句等について加除修正を行うことがある。

7. 掲載料

- 1) 掲載論文の掲載料は無料とする。
- 2) 著者の希望により特殊用紙（アート写真、カラー写真など）を用いて印刷した場合の経費は著者負担とする。

8. 別刷

- 1) 紙面印刷別刷（表紙なし）は有料とし、希望の場合は50部単位で受け付ける。別刷り代を別表に示す。
- 2) 投稿カードに希望部数を明記すること。別刷の送料（¥1,000/箱）は著者負担とする。

別刷り料金表（単位：円）

ページ	50部	100部	150部	200部
1～2	4,000	5,000	6,000	7,000
3～4	5,000	7,000	9,000	11,000
5～6	6,000	9,000	12,000	15,000
7～8	7,000	11,000	15,000	19,000
9～10	8,000	13,000	18,000	23,000
11～12	9,000	15,000	21,000	27,000

（税抜）

9. 掲載論文の著作権

掲載された論文の著作権は日本医療・環境オゾン学会に属する。

10. 倫理規定

人体ならびにヒト組織を対象とした論文は「ヘルシンキ宣言（1964年承認、2013年修正）」の倫理基準に従い（<http://www.wma.net/e/policy/b3.htm>）、ヒト遺伝子に関する論文は「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針（平成13年制定、平成20年一部改正）」（http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/seimei/gonomeshishin/）に従い、かつ、いずれの場合も、原則として所属機関の倫理委員会の承認を得て実施されたものに限って投稿を受け付ける。また、患者情報の含まれる研究論文については個人情報保護に配慮し、文書によるインフォームドコンセントを得ていなければならない。

動物を対象とした論文は、所属機関の定める動物実験ガイドラインに従って実施されたものに限り受け付ける。なお、当該論文がこれらに従って実施されたことを本文中の「実験方法」に明記するとともに、倫理委員会による承認書のコピーを添付すること。ただし、倫理委員会の審査を受けなかった研究においては、ヘルシンキ宣言、厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針」及び「臨床研究に関する倫理指針」など研究倫理に関する指針を厳守して実施した研究であることがわかることを「実験方法」に記載すること。

11. 利益相反（Conflict of Interest: COI）に関する事項

論文の内容に関連し、営利を目的とする法人・団体などとの経済的利益相反（医学研究の利益相反）がある場合は本文中に明記する。

附則

1. この投稿規定は、2015年4月20日より施行する。
2. この投稿規定は、2022年12月31日改定した。

日本医療・環境オゾン学会 編集委員会

委員長：三浦敏明、編集幹事：錦善則

編集委員

上村晋一、神力就子、松村浩道、加藤直哉、杉原伸夫、鳥巢至道、清水無空、鷺巣誠、安川明男、村上弘、廣田健、内藤博敬、中室克彦、小阪教由、櫻井正太郎、熊谷知哉、岡本芳晴

審査員：随時依頼する。

「医療・環境オゾン研究」投稿の手引き

1. はじめに

本投稿の手引きは「医療・環境オゾン研究」の投稿規定3により、論文投稿に際しての執筆の指針として作成されたものである。以下の諸注意に留意し、分かり易く、体裁の整った論文を投稿すること。この手引きに著しく違反する投稿論文は、受付に先立って修正を求めることがある。

2. 投稿論文

2.1. 原稿の作成

- 2.1.1 投稿原稿にはA4版用紙を用い、Microsoft Wordで作成する。ただし、投稿カードや図、表はこの限りではない。なお、使用するOSはWindows 10以降とし、Microsoft Wordはできるだけ最新のVersionのものを使用すること（投稿カードにMicrosoft WordのVersionを記載する）。
- 2.1.2 原稿本文は上下左右マージンをいずれも20mmに設定し、48字×48行の文書を作成する。原稿の下中央にページ番号を記す。
- 2.1.3 指定した場合を除き、原則としてフォントは10ポイントのMS明朝（和文）あるいはCentury（英文）を用い、数字はアラビア数字を使用する。和文の英字はCenturyとし、カンマは「,」、ピリオドは「。」とする。英文ではカンマは「,」、ピリオドは「.」とする。
- 2.1.4 図表の作成にはExcelやChemDraw、PowerPointなども使用可とする。

2.2. 投稿原稿の構成

(1) 投稿カード

(2) 原稿

- ① 題名、著者名、機関名と所在地名
- ② 和文要旨（原稿本文が英文の場合は英文要旨）（速報と短報には不要）
- ③ 和文キーワード
- ④ 本文
- ⑤ 表
- ⑥ 図説明
- ⑦ 図
- ⑧ 英文要旨
- ⑨ 英文キーワード

ただし、論文の構成上、表または図がないものもあり得る。

(3) 速報とする理由書（速報投稿の場合）

2.3. 投稿カード

投稿カードは本会のホームページ（<https://www.js-mhu-ozone.com/regulation/index.html>）からダウンロードして用い、必要事項を記入すること。

2.4. 原稿

2.4.1 題名、著者名、機関名と所在地名

- ・ 最初の頁に論文題名、著者名、研究の行われた機関名、同所在地を、それぞれ改行してMSゴシックで書く。論文題名は14ポイント、著者名と機関名、所在地名は11ポイントで印字する。
- ・ 題名には商品名や略語は用いない。ただし、国際的に普通名詞化したものは使用できる。たとえば、DNA、RNA、EDTA、GC-MS、HPLC、NMR、UVなど。
- ・ 別刷請求、内容の質疑に関する実質的な連絡代表者1名に*印を付す。

2.4.2. 和文要旨

- ・ 要旨は論文の要点を明示するもので、600字以内とし、要旨内では改行しない。また、要旨には略語は使用せず、図、表、文献などは引用しない。

2.4.3. 和文キーワード

- ・ 論文内容を的確に表すキーワード（5個以内。キープレーズも含む）を日本語（MS ゴシック、10ポイント）で記す。各キーワードをセミコロンで区切る。 例 オゾン；水酸ラジカル；反応速度

2.4.4. 本文

- ①たとえば、序文またははじめに、実験方法または材料と方法、結果または成績、考察、結論、謝辞（必須ではない）、利益相反自己申告および参考文献などの順に見出しを付けて書く。ただし、「結果と考察」、「考察と結論」のように、必要に応じて項目を結合してもよい。
- ②本文中の大見出し、中見出し、小見出しはポイントシステムとし、1. 2. 3.・・・、1.1. 1.2.・・・、1.1.1. 1.1.2. 1.1.3.・・・などを書く。大見出し、中見出しの前は1行あける。また、見出しは10ポイントのMS ゴシックで印字する。
- ③本文は10ポイントのMS明朝（和文）あるいはCentury（英文）で印字する。また、本文枚数の目安は刷り上りで次の通りとする。ただし、表と図は1点について約0.3枚として本文の枚数に含める。

原著論文、症例・事例報告、解説	8枚以内
速報、短報告	3枚以内
総説	12枚以内
- ④化合物名は原則としてIUPAC命名法に従い、日本語で書く。ただし、元素記号および簡単な無機化合物の化学式は用いてもよい。
- ⑤単位は特別の理由がない限りSI単位を用いる。ただし、慣用的に用いられている単位（M:モル濃度など）に関してはその限りでない。また、数値表現では、「3_m」のように数字と単位の間には半角のスペースを空ける。
- ⑥略語を本文に用いる場合には、それぞれ初出の時点で定義する。たとえば、正式名称の後に略語を（ ）内に付記する。
- ⑦登録商標名を使用する際は、最初を大文字とし、商標名の末尾右肩に®または™を付す。外国人名は原語で書く。
- ⑧図や表を本文中で引用する場合は図1、表1などと書く。図や表の挿入箇所は本文原稿の余白部分にそれぞれの番号で指定する。
- ⑨謝辞：研究助成金に対する謝辞は、助成団体名称、助成番号などを記す。また、研究や論文執筆に際して助力を得た人に対する謝辞は、本人の許可を得た上で記す。
- ⑩利益相反自己申告：著者全員について有無を記載する。

たとえば、無しの場合は、
和文では「利益相反自己申告：申告すべきものなし」、
英文では「Conflict of Interest: The authors declare no conflict of interest.」

有りの場合は、
著者1はA社より顧問料を、B社およびC社より講演料を受けている。著者B、著者C、著者Dは申告すべきものなし。
- ⑪参考文献：引用文献番号は本文中のその項目または著者などの該当者名の右肩に上付きで1,2)、または3件以上の文献を引用する場合は、3-5)のように通し番号を記す。

参考文献は本文の末尾に“参考文献”の見出しでまとめて記載する。その記載例は「3. 文献の記載例」に示す。公表が未確定の投稿論文は引用してはならない。採択されたものは引用可とし、(印刷中)と記述する。

2.4.5. 表

- ・ 表は本文とは切り離して1件/1頁とする。表題は表の上部に10ポイントのMS ゴシックを用い記載する。表説明は表の下部に10ポイントのMS明朝を用いて記載する。
- ・ 刷り上りで横8cmまたは17cm以内に縮小されることを考慮して作成すること。
- ・ 表および表題は英文表記でも可とする。

2.4.6. 図説明および図

- ・ 図説明および図は本文と切り離し、それぞれ1件/1頁とする。図の表題は10ポイントのMSゴシックを用い記載し、その下部に図についての説明文を10ポイントのMS明朝を用いて記載する。説明文は、図と説明をみれば概略が分かるように記述する。
- ・ 図は刷り上りで原則として横が約8cmまたは17cmに縮小されるので、線の太さや文字と図柄のバランスを考慮して作成すること。
- ・ カラー写真を掲載する場合は、実費を負担して頂く。
- ・ 図、図表題および図説明は英文表記でも可とする。

2.4.7. 英文要旨

- ・ 英文要旨は、本文と独立に理解できるように、本文中で定義した記号、略号などは改めて定義する。本文中の図、表、式などは引用しない。
- ・ 英文要旨の構成は以下の①～⑤とし、①は14ポイント、②～④は11ポイント、⑤は10ポイントのCenturyで記載する。

① 題名

② 著者名。名を先にし、姓は全部大文字で記入する。例： Taro YAMADA

③ 研究の行われた機関の正式な英語名称

④ 研究の行われた機関の所在地

⑤ 英文要旨の本文

長さは、原著論文、症例・事例報告、総説および解説で300 word以内。速報と短報で250 word以内。

2.4.8. 英文キーワード

- ・ 英文要旨の末尾に論文内容を的確に表すキーワード（5個以内。キープレーズも含む）を英文で記す。各キーワードをセミコロンで区切る。例 Ozone; Hydrogen peroxide

2.5. 速報とする理由書

速報については、別紙に速報として掲載を希望する理由を400字程度で書く。

3. 文献の記載例

3.1. 文献番号は単一の文献に対応するものとする。

3.2. 著者は全員記載し、著者が複数の場合、邦文では「、」英文では「,」で区切る。

著者の記載は5名までとし、あとは「ほか」（英文ではet. al.）とする。

3.3. 雑誌を引用する場合は次の順に記載する。

著者、論文題名、雑誌名（英文名は斜体とする）、巻（太字体とする）：開始頁－終了頁（発行年）。

3.4. 雑誌名の略記はPubMedを参照する。和文雑誌名は省略しない。

- 1) 松本日洋、櫻井正太郎、神力就子、鈴木 滋、三浦敏明、外科手術後の難治瘻孔・難治創に対するオゾン化オイルの治療効果。日本臨床外科学会誌、**60**: 1383-1389 (2000).
- 2) M. Wu, D.F. Church, T.J. Mahier, S.A. Barker and W.A. Pryor, Separation and spectral data of the six isometric ozonides from methyl oleate. *Lipids*, **27**: 129-135 (2002).
- 3) 櫻井正太郎、オゾン化油の臨床使用実績について。日本医療・環境オゾン研究会会報、**8**: 12-19 (2001).
- 4) N. Shinriki, T. Suzuki, K. Takama, K. Fukunaga, S. Ohgiya, et al., Susceptibilities of plasma antioxidants and erythrocyte constituents to low levels of ozone. *Haematologia*, **29**: 229-239 (1998).

3.5. 単行本の一部または全体を引用する場合は次の順に記載する。

著者または編著者、“単行本の名称”、第○巻、開始頁－終了頁（発行年）、発行者、発行者の所在都市名。

- 5) 宗宮 功、“新版オゾン利用の新技术”、p.697-000 (1993)、サンユ-書房、横浜。
- 6) 杉光英俊、“オゾンの基礎と応用”、pp.213-238 (1996)、光琳、東京。
- 7) 大柳彦彦、井上正康編、“活性酸素と老化制御”、2001、共立出版、東京。

- 3.6. 翻訳書の場合は、これを引用した後、セミコロンの続けて原著書を引用する。
- 8) 日本医療・環境オゾン研究会 訳、“ヨーロッパにおける最新のオゾン療法”、医療・環境オゾン研究、増刊2号(2002) ; Renate Viebahn-Haensler, “The Use of Ozone in Medicine”、3 th Ed. (1999)、Karl F. Haug Publishers, Heidelberg.
- 3.7. Proceedings、特許など
- 9) T. Miura, S. Suzuki, S. Sakurai, A. Matsumoto and N. Shinriki, Structure elucidation of ozonated olive oil. Proceedings of the 15th Ozone World Congress, Medical Therapy Conference, International Ozone Association, pp. 72-76. London (2001).
 - 10) A.E. Greenberg, L.S. Clesceri and A.D. Eaton, Standard methods for the examination of water and wastewater. 18 th edition, 2-42 (1992), American Public Health Association, Washington, DC.
 - 11) 吉田 修、東間 紘、村井 勝、泌尿器疾患の最新医療. 先端医療技術研究所、10 : 27-00 (2003).
 - 12) 住友金属工業、日本特許公開広報、昭 56-34、061 (1981.9.7).
 - 13) T.M. Stevens and T.E. Miller, Jr., U. S. Patent 4290775 (1981.9.22).